

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 10月 19日

【評価実施概要】

事業所番号	0177600194		
法人名	医療法人喬成会		
事業所名	グループホーム延齡草		
所在地	石狩市花川南6条5丁目142番1 (電話) 0133-72-6543		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成19年9月19日	評価確定日	平成19年10月19日

【情報提供票より】(19年8月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)13年12月1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	9人	常勤	8人, 非常勤 1人, 常勤換算 8.6人

(2) 建物概要

建物構造	木造	
	1階建ての	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000円	その他の経費(月額)	14,000円	
敷金	有(円) (無)			
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	300円	昼食	350円
	夕食	350円	おやつ	円
	または1日当たり		1,000円	

(4) 利用者の概要(9月19日現在)

利用者人数	9名	男性	0名	女性	9名
要介護1	0	要介護2	1		
要介護3	6	要介護4	2		
要介護5	0	要支援2	0		
年齢	平均 87歳	最低	76歳	最高	96歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	花川病院歯科・ふれあいクリニック
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は建物全体に木材を使用しており、木の香りに包まれ温かい雰囲気有している。開設してから6年が経過し、利用者はゆったりと過ごしており表情は穏やかである。職員は積極的に研修に参加し、ケアの質の向上を目指して日々取り組んでいる。地域との連携も取れており、今後更なる飛躍が期待できる事業所である。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での課題について利用者・家族・職員で話し合い、意見を採り入れながら改善に取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員で話し合いながら自己評価に取り組み、サービスの質の向上に活かしている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	定期的に運営推進会議を開催しており、活発な意見交換を行っている。構成員の会議への出席率が高く、そこで出た意見を事業所の運営に活かしている。また、地域交流の窓口的役割も担っており、法人と協働で対応がなされている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族からの意見・苦情は当事業所のほかに法人本部が第三者的役割を担い、対応している。また、職員は家族が意見・苦情等を伝えやすい雰囲気づくりに努めている。意見を受けた際は法人が対応し、ケアサービスに反映させている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	多数の利用者が町内から入居しており、事業所の認知度は高く地域からも信頼を得ている。また、町内会の行事に参加したり事業所の行事に隣住民も参加しており、地域との交流が図られている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	介護保険導入時より地域に密着する形の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝の申し送り時に理念を唱和し、日常業務において理念の実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会の一員として花壇作りや清掃活動に参加している。また、夏祭りなどの事業所の行事に近隣住民を招待しており交流することに努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員で話し合い自己評価に取り組んでいる。また、外部評価の結果について家族に送付し開示している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1度運営推進会議を開催しており、事業所の運営内容の検討や地域における事業所のあり方について活発な意見交換を行っている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市の介護相談員が定期的に事業所を訪問し、その際に地域の情報や行政からの連絡を受けており、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>定期的に発行している事業所便りとともに個別の便りを家族に送付し、利用者の暮らしぶりについて報告している。また、来訪時に職員は家族に声かけし、利用者の健康状態について伝えている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情・意見等に関しては事業所の他に法人本部が第三者的役割として対応する体制が整えられており、的確に意見反映がなされている。また、家族会を設置しており家族から意見・要望等を聞く機会を積極的に設けている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動があった場合は利用者と新規職員が早期に馴染めるようホーム長が指導にあたり、利用者へのダメージを防ぐよう努めている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月内部研修を実施しているほか外部研修に参加する機会も多く設けている。また、受講後は会議において研修内容を発表したり文書にて伝達するなど、職員の共有が的確に図られている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市のグループホーム連絡協議会に加盟しており、会議において同業者と情報交換を行っている。また、市の介護相談員が訪問した際に情報の提供がなされるとともに他事業所とも密に連絡を取っており、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>当事業所は通所介護事業所が併設され体験利用・入居を経てからの入居とするなど、事業所に少しずつ馴染めるよう配慮している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>居室の片付けや外出時の洋服選びなどを利用者と職員が一緒に行うほか、家族も交えての関係づくりに努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	職員は生活のあらゆる面において利用者の希望・意向の把握に努め、確認しながら支援している。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	職員は利用者個人の特徴や能力等を詳細にわたり把握しており、アセスメントに反映して介護計画を作成している。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	毎週利用者の状況を確認し、話し合いを行っている。また、定期的に介護計画の見直しを行い、家族からの意見も随時反映している。		
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	併設している通所介護事業所のほかに、隣接地には法人本部が運営する各種事業所があり、協働して柔軟な支援を実践している。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	利用者一人ひとりのかかりつけ医へ24時間診療可能な体制が築かれており、本人・家族にとっての安心に繋がっている。また、他医療機関受診への相談や情報提供も的確に行われており、適切な医療を受けられるよう支援している。		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	利用者や家族の意見・要望を尊重して終末期のあり方について話し合い、入居時に同意書を交わしている。また、利用者の身体状況に変化が生じた場合はそのつど家族や身元引受人と話し合う体制が築かれている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	職員は利用者の誇りを損ねることのない対応を心がけており、利用者の状態も常に穏やかである。また、個人情報に関するマニュアルが整備されているとともに入居時に家族へ説明がなされ、適切に処理されている。		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	食事の準備・掃除・体操・工作など、一人ひとりの生活歴や希望に合わせて利用者のペースを大切に支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	購入した食材で利用者の希望を採り入れながら献立を作成し、食事の準備・後片付けも職員と一緒にやっている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日・時間帯など利用者の希望に合わせて、週に2～3回の入浴支援を行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	併設している通所介護事業所の利用者と協働して作品展を開催したり近隣住民との交流により、楽しみごとや気晴らしができるよう支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩・買い物・他事業所への訪問など、利用者の希望に合わせた外出支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の自動ドアは施錠しておらず常に開放的で利用者は自由に入出りでき、職員は見守りながら支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に防災訓練を実施しており、防災マニュアルが整備されている。また、職員は防災に関して高い意識を持って訓練に参加している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取量や排泄量などが個別に記録されており、職員は確認しながら支援している。また、主治医にも定期的に情報を提供し、アドバイスを受けながら適切に対応している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間の天井は高く開放的で、木材が使用されており温かく家庭的な雰囲気を有している。窓も多く自然光が射し込み、利用者にとってゆったりと寛げるよう配慮された造りになっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には使い慣れた愛着のある物が持ち込まれており、利用者が落ち着いて過ごせるような空間となっている。		

 は、重点項目。